



明治 150 年に問う

日本人の心を破壊した明治政府宗教政策

Guest Speaker : 金子 貴一 氏

6月3日(日) 午後 2:00~4:00

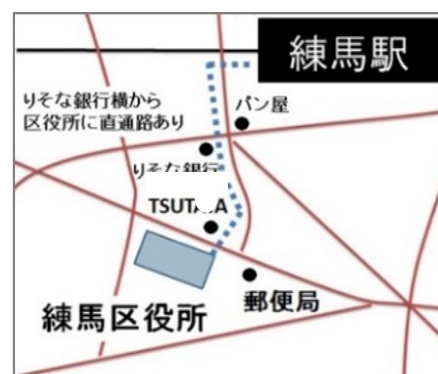
練馬区役所19F 1903会議室

西武池袋線(地下鉄有楽町線/副都心線 直通)・都営大江戸線

練馬駅 西口 徒歩5分 (りそな銀行横の階段から直通)

参加費:1,000円 資料代・お茶菓子代含む。

(二人様以上800円・大学生500円・高校生以下無料)



【講演内容】

急速な近代化を推し進めた明治政府は、その原動力として「国家神道」というイデオロギーを新設して全国に押し広めました。その陰で、「日本人の心」とも言える有史以来の信仰や宗教が破壊され大きく変えられてしまったことは、あまり知られていません。

明治以前、人々の生活に深く関わっていた山伏や陰陽師は禁止令により姿を消し、神社仏閣には、神仏分離令による廃仏毀釈という破壊の嵐が吹き荒れました。

今回の講座では、“明治を境に日本の宗教がどう変わったのか？”を具体的にわかりやすく考察します。

【金子 貴一 プロフィール】

栃木県生まれ。元不登校児。高校時代は曹洞宗総本山永平寺に何度となく参禅。

米国高校留学でキリスト教を学び、エジプトでイスラム教に慣れ親しみ、カイロ・アメリカン大学文化人類学科卒。帰国後、フリーライター、秘境添乗員として活躍。国内では「日本百観音巡礼の旅」が終了し、「日本の聖地を巡る旅」を継続中。仕事で訪れた国と地域の数は114。

プライベートでは、高僧のもとで30年近く仏道修行を続ける。

著書に『世界の宗教』などがある。

〈ぶんかサイエンスカフェ事務局〉

【お申し込み/お問い合わせ】 メールまたはホームページよりどうぞ! 当日の直接御来場でもOK!

メール: office@cscafe.net ホームページ: <http://cscafe.net>

ぶんかサイエンスカフェ



電話: 090-1771-0901 事務局代表 伊藤 規志子 *不在の時は留守電メッセージをお願いします。